

OyaConvM5 かんたん取扱説明

2021.07.18 Ver.9

接続方法



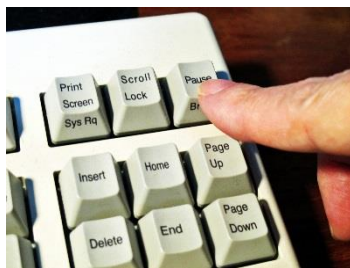
1. USB 端子とキーボードとを接続します。
2. 本体左側側面にある赤い色の電源スイッチを一度押します。
3. OyaConvM5 が BLE(Bluetooth 互換)接続されていることを確認します。
(正常に接続されれば、無線接続状態が CONNECT になります。)

Type-C 充電端子から充電しながら使用することも可能です。充電中は電源を切ることには出来ません。

- ※ BLE (Bluetooth4.0 以上互換) 接続は OyaConvM5 の電源が入っていることを確認してから、接続する機器の Bluetooth 接続方法に従ってペアリングして下さい。一度ペアリングされると次回からはその機器に自動的に無線接続されます。
- ※ Type-C 充電端子は充電のみの機能です。デバイスへ信号を送ることは出来ません。
- ※ メモリカード (microSD 互換)の images フォルダ (ディレクトリ) は変更したり削除をしないで下さい。表示に必要な情報が入っております。



1. 電源を入れます。(接続方法の通りです)
2. ご使用になりたいチャンネルを液晶の表示で確認します。
3. ファンクションキー「親指/英数」で親指シフト配列としてキーボード入力ができます。英数に戻す時には同じファンクションキー「英数/親指」を押します。
※キーボード Pause ボタンでも 親指/英数の切り替えは可能です。



※「半角/全角」など日本語切り替えキーと連動して切り替えすることも可能です。

4. 親指シフトキー入力すると、ローマ字に変換した文字をパソコン（デバイス）側へ送ります。
5. ご使用が終わりましたら本体左側側面にある赤い色の電源スイッチを押して電源を OFF します。(充電中は電源を OFF することは出来ません)

付属品

- メモリカード（TFカード、microSD 互換）
標準品：サンディスク マイクロ SDHC 16GB SDSQUNS-016G-GN3MN Class10
- 充電用 USB Type-C ケーブル（20cm）

ご予約時は、次ページ「ご注意・制限事項」を必ずお読み下さい。

ご注意

- ※ 2021.07.19 時点では、キーレイアウトをお聞きした上で、出荷しております。既存キーレイアウトの場合は無償インストール、キーレイアウトを新規に作成する必要がある場合は設定料¥5,000- で承っております。まずはご相談下さい。なお、キーレイアウトはユーザー様ご自身でも設定可能です。
- ※ OyaConv 以外の親指シフト環境サポートまでは出来かねますのでご了承下さい。
- ※ 初期不良（2週間以内）のみ返品、ご交換に対応いたします。
- ※ 充電状態が 100%にならない場合は、バッテリーの寿命です。液漏れの心配もございますので、早めにご交換下さい。
- ※ バッテリーモジュールは OyaConv で検査済みのものを ¥2,000-で販売しております。M5Stack 用の 700mA/h バッテリーは別途販売店からもご購入出来ます
- ※ ご希望のキーレイアウト設定は別途有料サービス（¥5,000）でお受けいたします。その場合、キーレイアウト変更以上の設定変更はいたしかねますのでご了承下さい。（Microsoft IME,Google 日本語入力,iPad Mac 日本語入力などの設定変更）
- ※ 製品の使用によって又は使用できないことによって生じた付随的な損害（お客様の要求を満たさないために生じた業務上の中断、ビジネス情報の消失などによる付随的・間接的損害、逸失利益など）に関しては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ※ 製品細部の仕様は予告なく変更される場合があります。

制限事項

- ※ FMV-KB232 は特殊なキーボードのため、現時点では使用することが出来ません。
- ※ PC 等のデバイス側に BLE, Bluetooth4.0 以上の互換があることをご確認下さい。本体に互換が無い場合 Bluetooth4.0 以上の新しい外付 Dongle を装着してもペアリングは出来ません。
- ※ Logicool の unifying キーボードは、OyaConvM5 を介するとキーボードの無線接続が出来ない場合があります。
- ※ Mac 用にユーザー様がキーレイアウト設定される場合は、ANSI (US) キーボードとしてご使用下さい。Mac 側の設定を JIS キーボードにすると一部キー（アンダーバー、¥キー）がご使用になれません。
- ※ 大電力が必要なキーボード（全キーが光るゲーミングキーボードなど）はご使用になれません。

メモリカード交換例

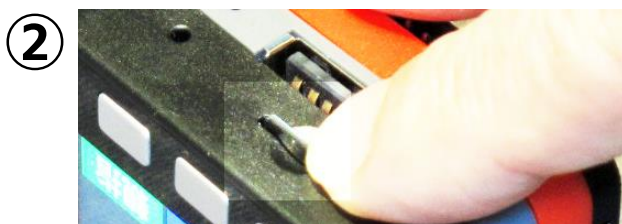
※ キーレイアウト設定サービスご利用のユーザー様はご一読下さい。

※ メモリカードの飛び出しと、真っ直ぐに挿入することにご注意下さい。メモリカード接触不良の原因となります。

取り外し



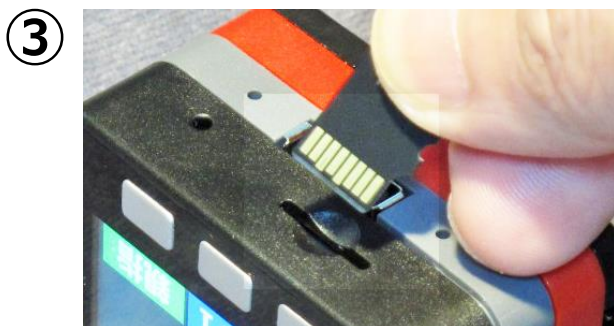
メモリカードが飛び出さないように片手の指を添え、もう片方の指の爪でメモリカードを押し込み、メモリカードを取り出します。
カチッというクリックがあれば取り出せています。



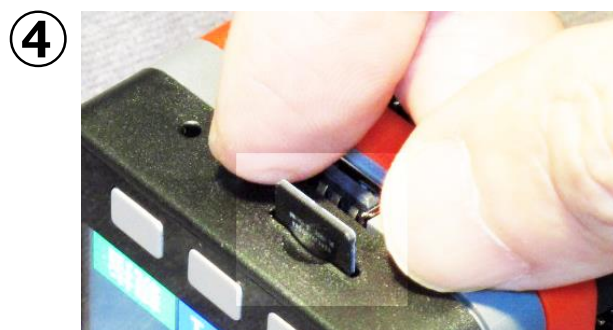
この状態でメモリカードを少し押し、メモリカードにバネが効いていることを確認します。
メモリカードを取り出します。



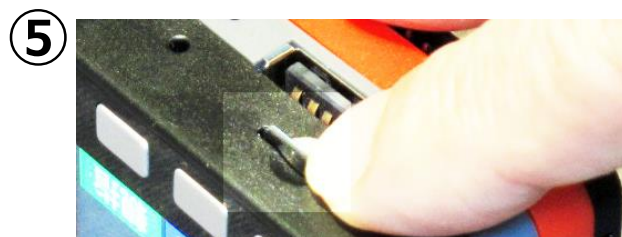
挿入



メモリカード挿入方向を確認します。



新しいメモリカードをスロットの中心に落とし込むようにまっすぐに投入します。



メモリカードを指でそと押し込みます。
正しく挿入されている場合、②で確認したバネでメモリカードが沈み込みます。
正しく挿入されていない場合にはバネが効かず、ガリガリとした抵抗があります。その場合は、**すぐに取り出し、再度メモリカードをまっすぐに挿入し直して下さい。**



①と同様、メモリカードを片手の指で添え、もう片方の指の爪でメモリカードを押し込み、メモリカードをカチッとクリックがあるまで挿入します。
以上で完了です